

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)

【公開番号】特開 2013-36035 (P2013-36035A)

【公開日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2013-009

【出願番号】特願 2012-158045 (P2012-158045)

【国際特許分類】

C 0 8 L 1/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/07 (2006.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

B 3 2 B 5/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 1/00

C 0 8 K 5/07

C 0 8 J 5/24 C F C

B 3 2 B 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 14 日 (2015.7.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

セルロース繊維と、粘度が 1 . 0 m P a ・ S 以上で、屈折率が 1 . 4 0 以上の有機溶媒とを含有する分散液中で、セルロース繊維をビーズミルにより解繊して微細セルロース繊維分散液を製造し、該微細セルロース繊維分散液とエポキシ樹脂および / またはその前駆体とを混合して微細セルロース繊維-樹脂分散液を製造することを特徴とする、微細セルロース繊維-樹脂分散液の製造方法。

【請求項 2】

有機溶媒の少なくとも 1 種がケトン系溶媒である、請求項 1 に記載の微細セルロース繊維-樹脂分散液の製造方法。

【請求項 3】

該有機溶媒は 2 種以上の有機溶媒からなる混合溶媒である、請求項 1 または 2 に記載の微細セルロース繊維-樹脂分散液の製造方法。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項に記載の製造方法により製造された微細セルロース繊維-樹脂分散液に加熱処理および / または露光処理を施し、有機溶媒を除去して、微細セルロース繊維と樹脂とを含有するセルロース繊維複合体を得ることを特徴とする、セルロース繊維複合体の製造方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の製造方法により製造された、セルロース繊維複合体。

【請求項 6】

基板及び請求項 5 に記載のセルロース繊維複合体を有する積層体。

【請求項 7】

さらに保護フィルムを有する、請求項 6 に記載の積層体。

【請求項 8】

請求項 5 または 6 に記載の積層体を用いた配線基板。